

セットアップツール運用ガイド

この運用ガイドでは、セットアップツールのインストールから C-Fit 変換処理までの一連の作業の流れを解説致します。

なおこのガイドは Mac OS X 環境での運用を想定したものであり、Windows 環境では一部操作が異なる点がございますので、Windows 版でご利用の際は、C-FitVer5.1.1 付属の PDF マニュアルをご精読の上、内容を適宜読み替えてご使用下さい。

目次

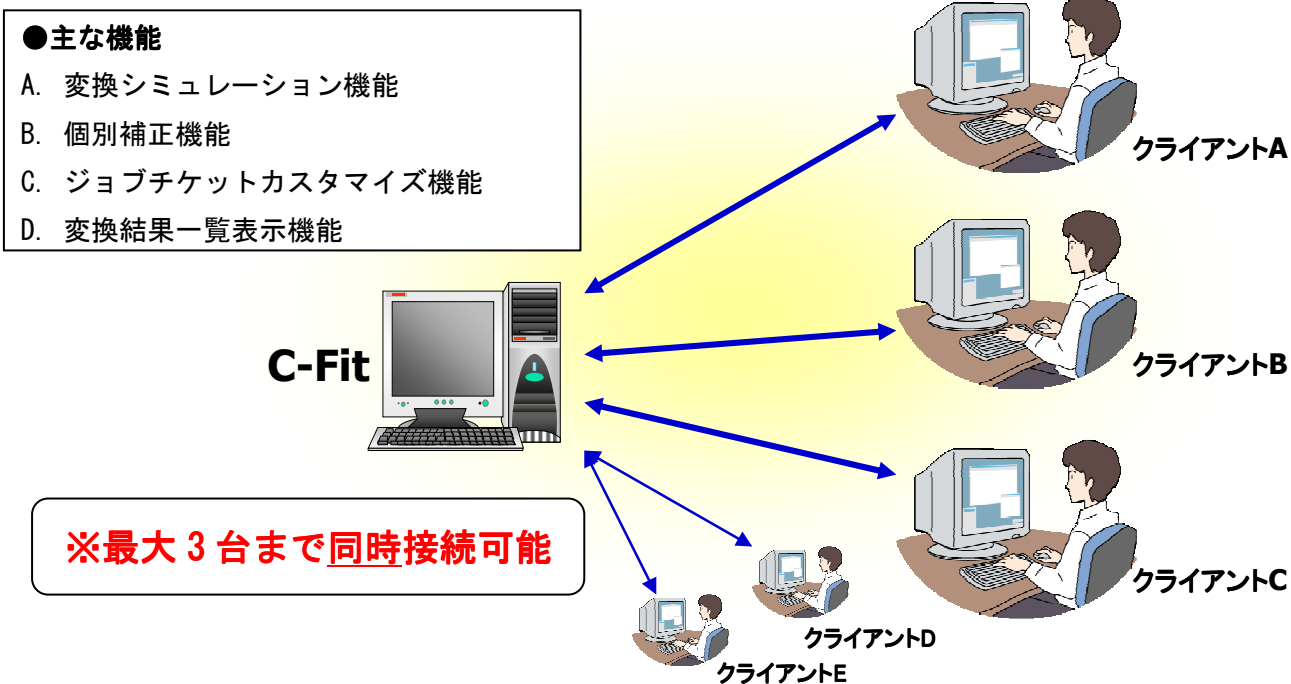
第一章	はじめに	2
	1. セットアップツール概要	2
	2. セットアップツールによる作業の流れ	4
	3. 推奨する動作環境	5
第二章	事前準備	6
	1. セットアップツールのインストール	6
	2. C-Fit フォルダのエイリアス作成	6
第三章	操作手順	7
	1. セットアップツールの起動	7
	2. メイン画面	8
	2-1 環境設定	8
	2-2 画像の読み込み	12
	3. プレビュー画面	13
	3-1 変換結果の事前シミュレーション	13
	3-2 変換結果の個別補正	15
	3-3 ジョブチケットのカスタマイズ	16
	4. 比較一覧/編集画面	17
	4-1 変換済画像の一覧表示	17
	4-2 比較編集画面での個別補正	17
	4-3 外部アプリケーションでの個別補正	19
	5. 終了方法	19

第一章 はじめに

1. セットアップツール概要

セットアップツールは C-Fit 専用のクライアントツールです。

このツールを使うことで C-Fit の変換結果を Windows 及び MacOSX クライアント上で事前にシミュレーションしたり、変換結果の個別補正をすることが可能です。



A. 変換シミュレーション機能 -P13

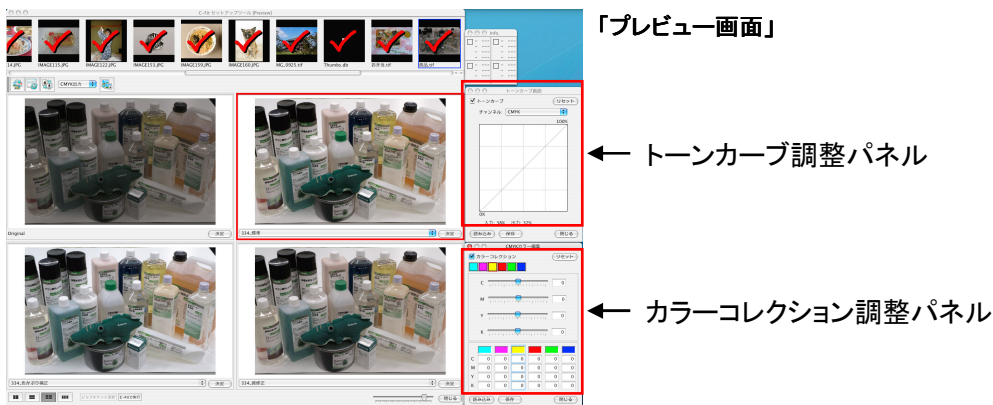
各ジョブチケットの変換結果を、事前確認することが可能です。

さらにプレビュー画面上から直接 C-Fit 処理を実行する事も可能です。



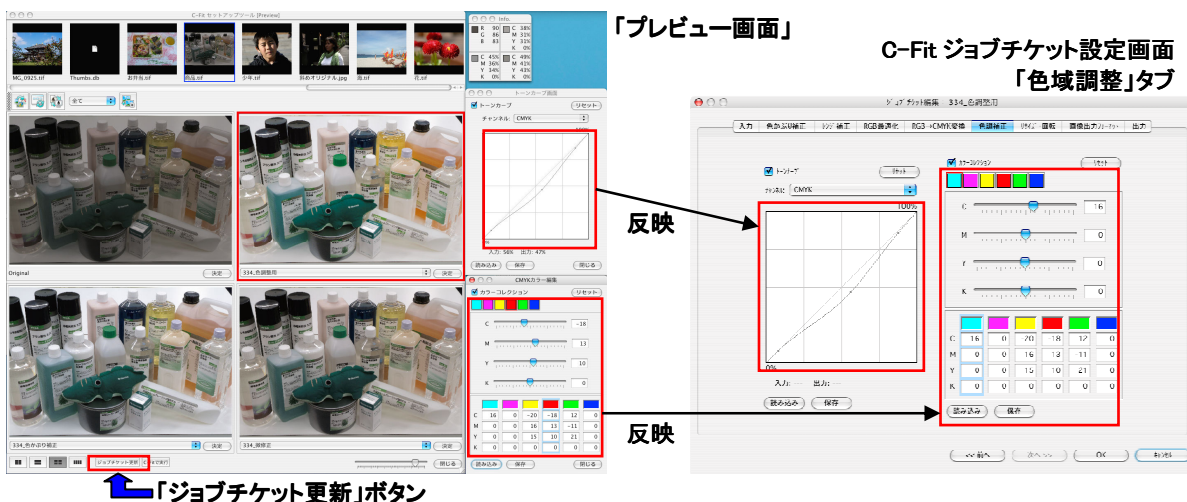
B. 個別補正機能 -P15

プレビュー画面上でトーンカーブ、カラーコレクションによる個別補正を行うことが可能です。



C. ジョブチケットのカスタマイズ -P16

プレビュー画面で調整したトーンカーブ、カラーコレクションの設定を、任意のジョブチケットに反映させることが可能です。



D. 変換結果表示機能 -P17

C-Fit 変換後の画像を一覧／拡大表示することが可能。さらにトーンカーブによる個別補正が可能です。



2. セットアップツールによる作業の流れ

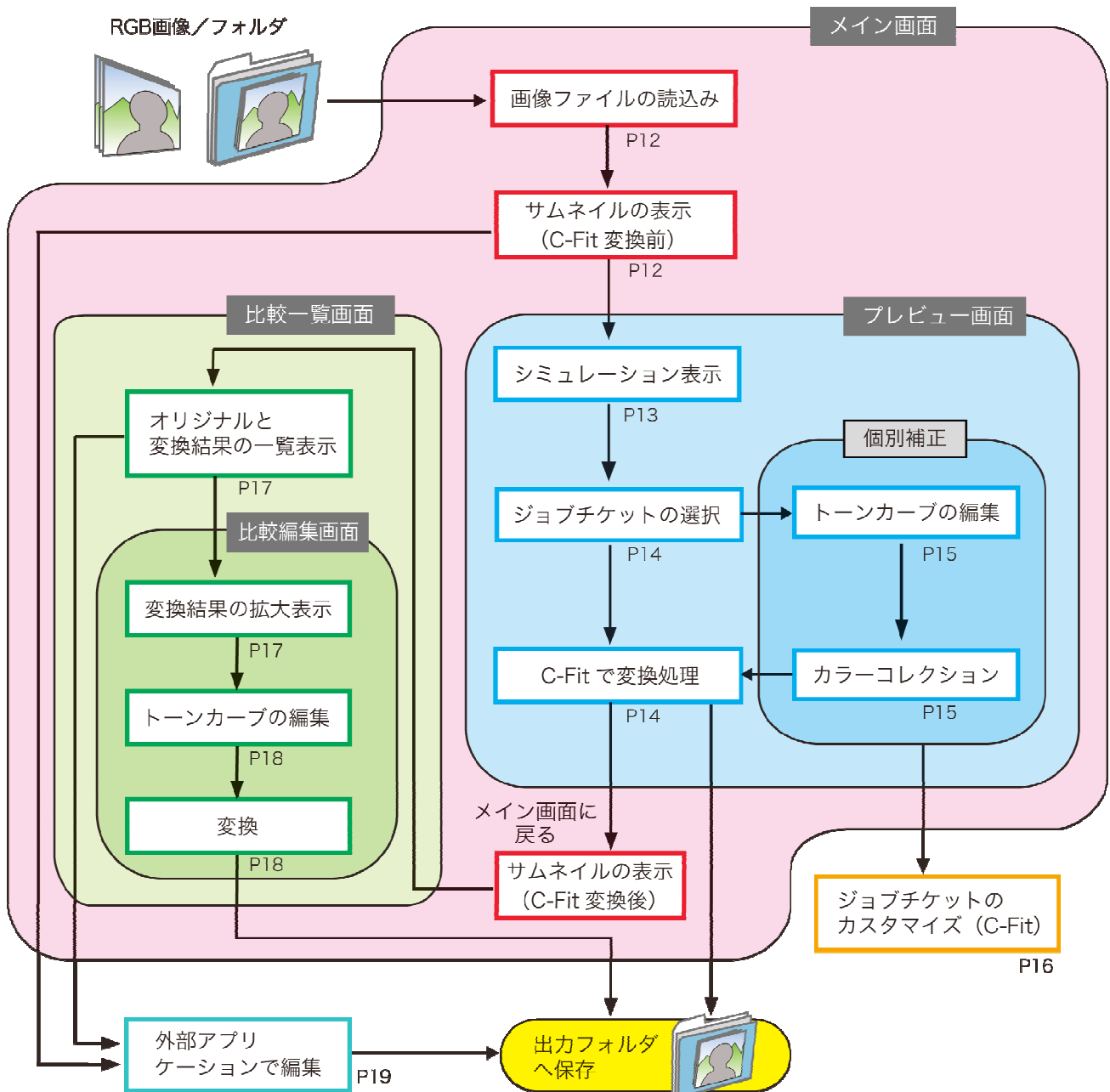
セットアップツールのワークフローは以下の3つのパートで構成されています。

- ①「メイン画面」 → 画像の読み込み、C-Fit 処理状況を確認します
- ②「プレビュー画面」 → C-Fit 変換結果のシミュレーション、個別補正作業を行います
- ③「比較一覧/編集画面」 → C-Fit 変換後の画像確認及び補正作業を行います

上記以外の機能として、C-Fit ジョブチケットの編集（カスタマイズ）や外部アプリケーションによる編集を行うことも可能です。

セットアップツールを使用した変換処理のワークフローは下図のとおりです。

●セットアップツールのワークフロー●



3. 推奨する動作環境

セットアップツールの動作環境

●Macintosh の場合●

コンピュータ本体: PowerPC G5、もしくは IntelCPU
OS: MacOS10.3.9 以上
メモリ: 1GB 以上(推奨 2GB 以上)
HDD: 10GB 以上(推奨 50GB 以上)
ディスプレイ: 1024×768 ピクセル
(推奨 1640×1280 ピクセル以上)

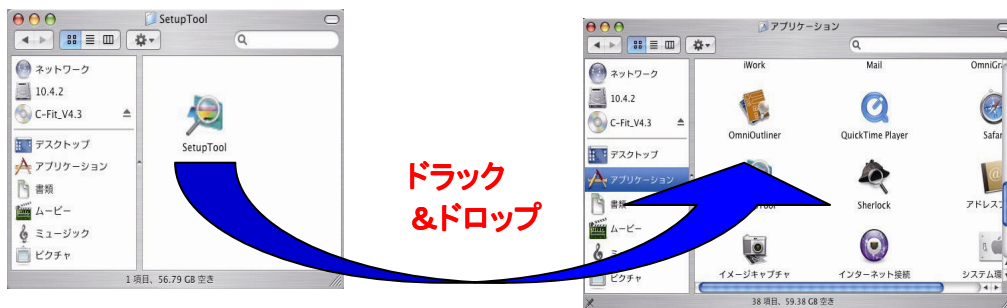
●Windows の場合●

コンピュータ本体: Pentium4 3.4GHz 以上
(推奨 Core2Duo 3.0GHz 以上)
OS: WindowsXP Professional、Windows2003Server
WindowsVISTA、Windows7
メモリ: 1GB 以上(推奨 2GB 以上)
HDD: 10GB 以上(推奨 50GB 以上)
ディスプレイ: 1024×768 ピクセル
(推奨 1640×1280 ピクセル以上)

第二章 事前準備

1. セットアップツールのインストール

- ① 「i-ColorQC C-Fit Ver5.1.1」のCD-ROMをMacintoshのCDドライブに装填します。
- ② Finderに表示された「C-Fit_Installer」CD-ROMアイコンをダブルクリックします。
- ③ 「SetupTool」ウインドウが開きますので、Tools>Mac>Setup Tools フォルダ内にある「SetupTool」アイコンをドラッグし、Macintoshの「アプリケーション」フォルダに移動します。



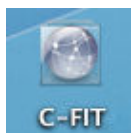
以上で SetupTool のインストールは完了です。

2. C-Fit フォルダのエイリアス作成

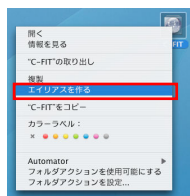
C-Fit サーバーとのデータ通信に必要なドロップフォルダのエイリアス作成作業を行います。

注：MacOS 環境では「サーバーへ接続」経由でマウントした場合、ネットワークパスが固定とならないため通信トラブルの原因となります。そのためセットアップツール利用時には「エイリアス」経由でマウントすることをお奨めします。

- ① C-Fit サーバー上の C-Fit ドロップフォルダを Macintosh マシンよりマウントします。



- ② デスクトップ上にマウントされた C-Fit ドロップフォルダにマウスカーソルをあて、Control ボタンを押しながらクリックします。



メニューリストが表示されますので、「エイリアスを作る」を選択します。

- ③ 「C-Fit のエイリアス」が作成されました。



- ④ 「C-Fit」ドロップフォルダの接続を一旦解除します。

以上で C-Fit フォルダのエイリアス作成作業は完了です。

第三章 操作手順

1. セットアップツールの起動方法

ここではセットアップツールの起動に必要な手順を解説します。

- ① 事前にサーバー側で「i-ColorQC C-Fit」が起動していることを確認します。
- ② 前回作成した「C-Fitのエイリアス」から C-Fit フォルダをマウントします。



- ③ 「セットアップツール」アイコンをダブルクリックします。



- ④ 「ログイン」ウインドウが表示されますので、「サーバーに接続する」にチェックを入れ、入力欄に C-Fit サーバーの IP アドレスを入力します。



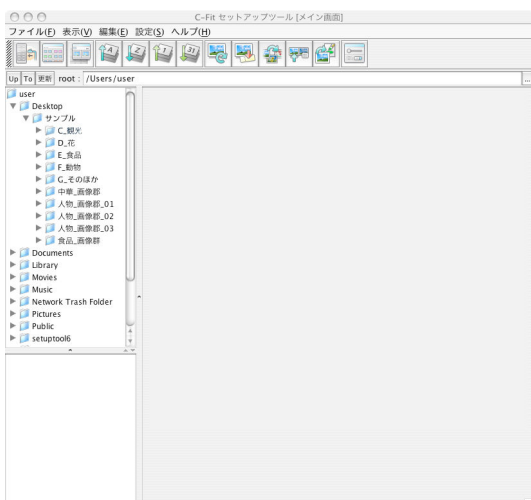
■ 以下の場合、「ログイン」ボタンをクリックするとエラーメッセージが現れます。

- ・ 入力欄にサーバーアドレスが未記入の場合
- ・ 一致するサーバーアドレスが無かった場合
- ・ サーバーで制限しているクライアント数を超過していた場合
- ・ C-Fit サーバーが起動していない場合

※サーバーに接続しない場合、「サーバーに接続する」のチェックを外します

- ⑤ 「ログイン」ボタンをクリックします。

- ⑥ セットアップツールが起動します。



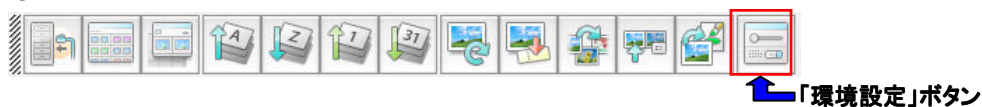
2. メイン画面

ここではセットアップツールを利用するために必要な環境設定と、画像の取込み作業を解説します。

2-1 環境設定

セットアップツールをご利用頂くために必要な環境設定を行います。

① メイン画面より「環境設定」ボタンをクリックします。



② 「環境設定画面」ウィンドウが表示されます。



③ ドロップフォルダパスの設定

セットアップツールから G-Fit サーバーへ画像を受け渡すためのフォルダを指定します。

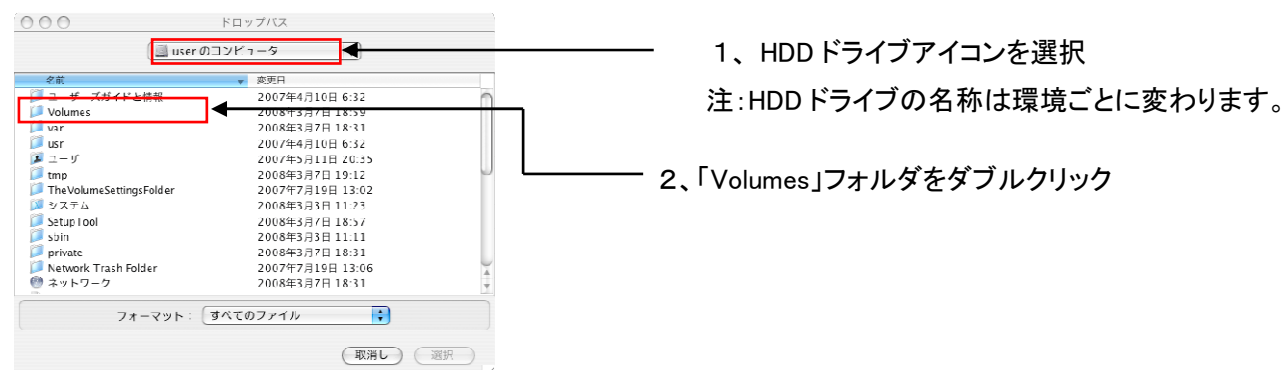
ここでは例として、すでに G-Fit サーバー上にある「SetupTool 入力」フォルダ (C:/G-Fit/SetupTool 入力) を、セットアップツールのドロップフォルダに指定する方法を解説します。

④ 「ドロップフォルダ」のパス欄右にある「・・・」ボタンをクリックします。

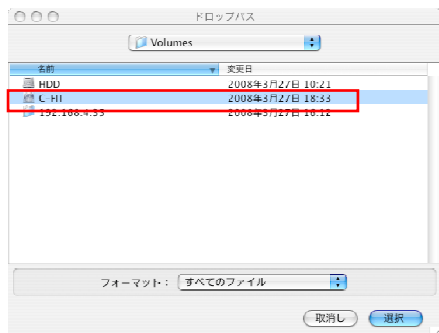


「ドロップフォルダ」ウィンドウが表示されます。

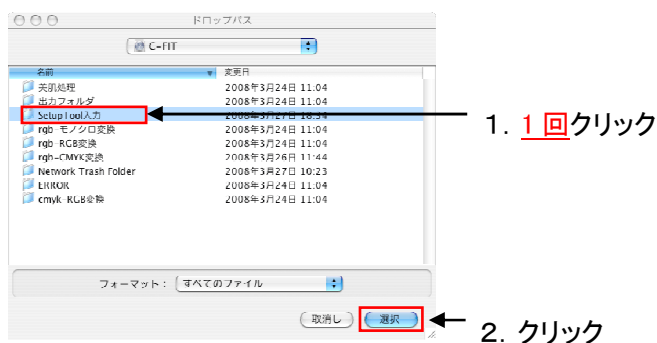
⑤ HDD ドライブ内の「Volumes」フォルダをダブルクリックします。



⑥ 「Volumes」内の「C-Fit」ドライブをダブルクリックします。



⑦ 「C-Fit」ドライブ内の「SetupTool 入力」フォルダを1回クリックし、「選択」ボタンを押します。

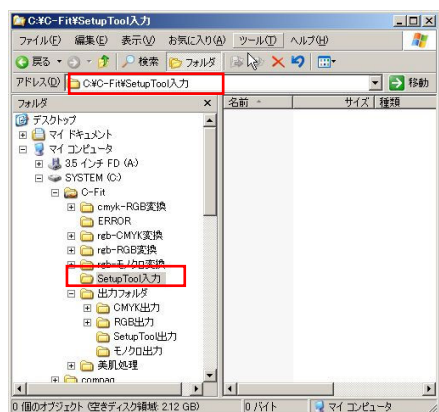


⑧ ドロップフォルダパスに「/Volumes/C-Fit/SetupTool 入力」が入力されました。



⑨次に「サーバ上でのパス」を入力します。

C-Fit サーバ側から見た「SetupTool 入力」フォルダパスを確認します。



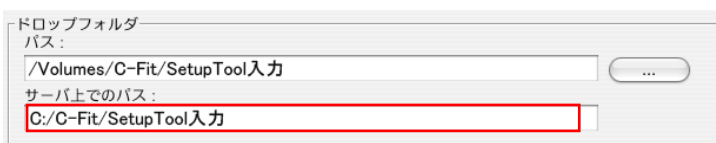
「サーバ上でのパス」確認方法

1、C-Fit サーバのエクプローラ画面上で「SetupTool 入力」フォルダをクリック

2、アドレス欄に表示されている内容を確認

例:「C:/C-Fit/SetupTool 入力」

ここでの入力内容は「C:/C-Fit/SetupTool 入力」となります。



以上でドロップフォルダパスの設定は終了です。

⑩「出力フォルダ」の設定

C-Fit で変換した画像の出力先を指定します。

ここでは「SetupTool 出力」フォルダ (C:/C-Fit/出力フォルダ/SetupTool 出力) を出力先に指定します。ドロップフォルダパスと同様の手順で「出力フォルダパス」及び「サーバー上でのパス」を設定します。



⑪「キャッシュ保存パス」の設定

初期設定で指定済みですので、ここでの設定は不要です。



⑫「外部アプリケーションへのパス」の設定

セットアップツールから起動させたい外部アプリケーションを指定します。

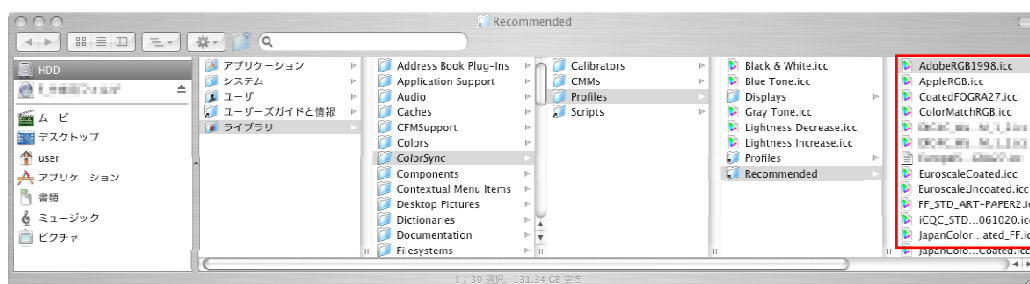
「・・・」ボタンをクリックすると「外部アプリケーションへのパス」ウィンドウが表示されますので、MacOSX 上の任意のアプリケーションを指定します。通常 MacOSX ではアプリケーションフォルダ内に存在します。



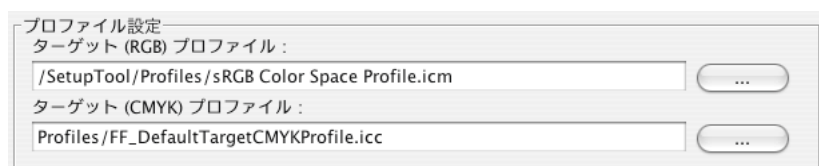
⑬「プロファイル設定」

プロファイルが埋め込まれていない画像に対して適用されるセットアップツール上での表示用プロファイルを指定します。ご利用環境に応じてプロファイルを指定して下さい。

※MacOSX の場合、通常下記の場合に保存されています。

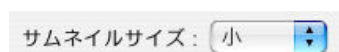


プロファイルの設定例



⑭「サムネイルサイズ」

メイン画面/比較一覧画面で表示されるサムネイルの大きさを小/中/大の中から指定します。



⑮「ジョブチケットリスト／バックグラウンド処理対象」

「ジョブチケットリスト」よりプレビュー画面でシミュレーションしたいジョブチケットを「選択」します。なにも選択しなかった場合、全てのジョブチケットがシミュレーションの対象となります。
注：対象チケットを指定することで後述(P13)の「一括作成」処理の時間が短縮されます。

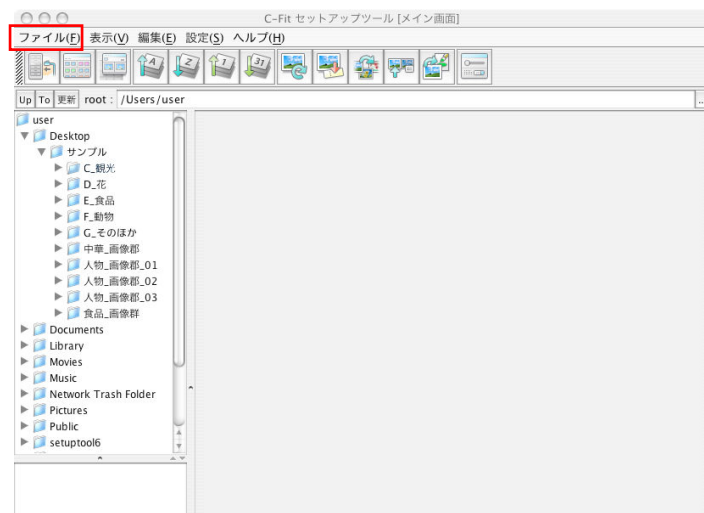
CMYK 変換用ジョブチケットの選択例



⑯設定内容を確認して「OK」ボタンをクリックします。



⑰環境設定を保存するため一旦セットアップツールを終了します。



「ファイル」メニューから、「終了」を選択します。

以上で環境設定は完了です。

2-2 画像の読み込み

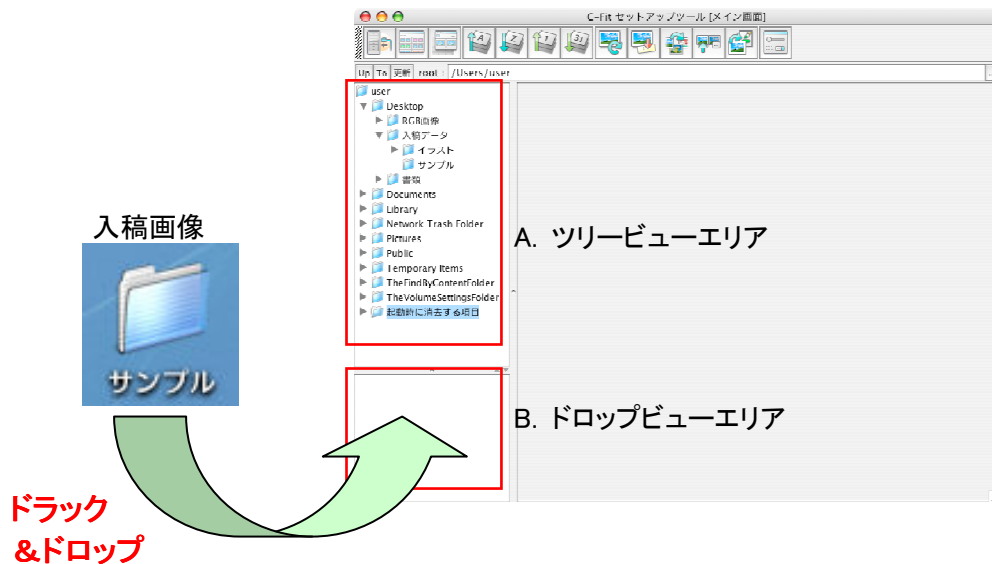
ここではセットアップツールへの画像の読み込み作業の流れを説明します。

①セットアップツールメイン画面より変換したい画像、または画像の入ったフォルダを指定します。

以下のいずれかの方法で画像及びフォルダの指定が可能です。

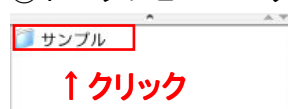
A: ツリービューエリアより変換したい画像フォルダを選択する

B: ドロップビューエリアに画像及びフォルダを直接ドラッグ&ドロップする

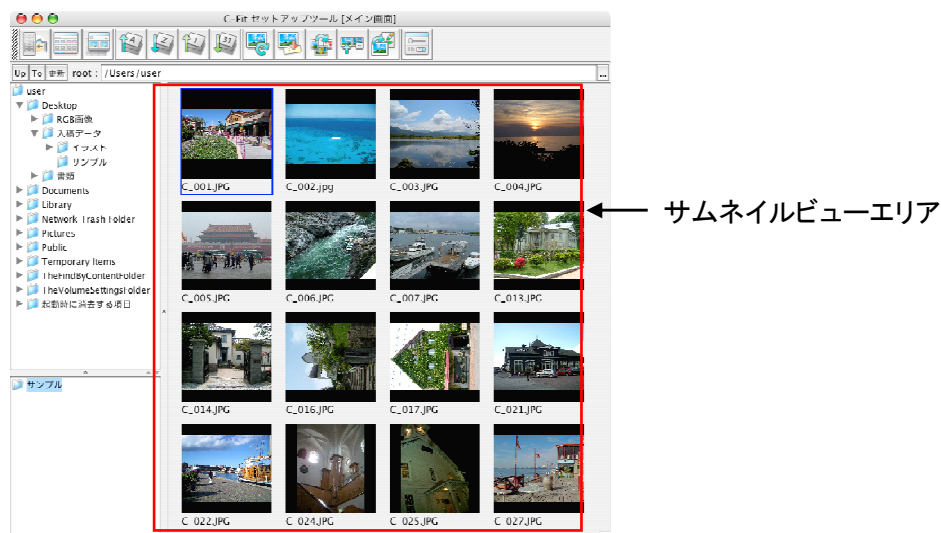


今回は例として入稿画像フォルダ「サンプル」をドロップビューエリアにドラッグ&ドロップする方法で解説します。

②ドロップビューエリアに表示された「サンプル」フォルダをクリックします。



③サムネイルエリアに「サンプル」フォルダ内の画像のサムネイルが表示されます。

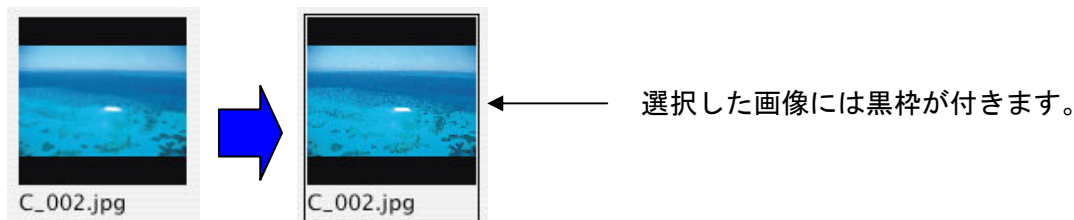


3. プレビュー画面

ここではメイン画面に読み込んだ画像の変換結果シミュレーションから、C-Fit 処理実行までの一連の作業の流れを説明します。

3-1 変換結果の事前シミュレーション

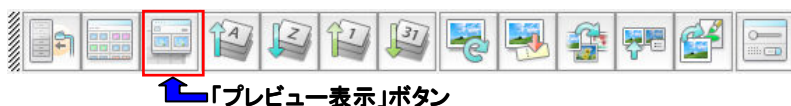
①サムネイルビューエリアよりシミュレーションしたい画像を選択します。



以下のコマンド入力により、複数画像を同時に選択することも可能です。

- ・複数選択=Option を押したまま選択したい画像をクリック
- ・範囲選択=Shift を押したまま選択したい画像をクリック
- ・全選択=Command+A

②全選択された状態で、「プレビュー表示」ボタンをクリックします。

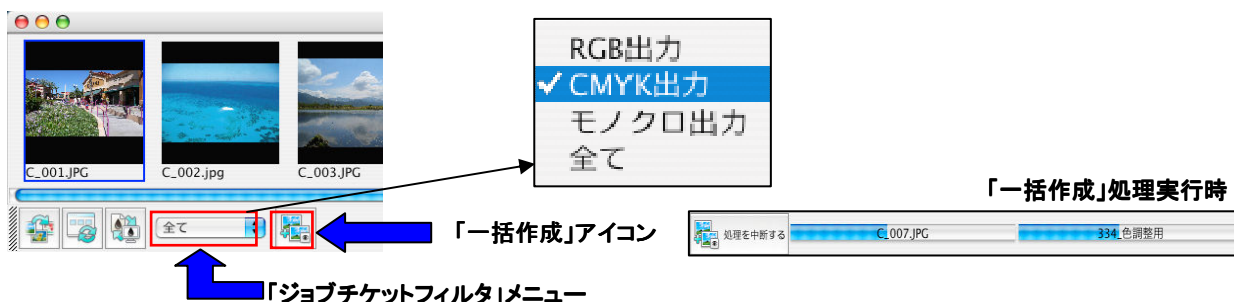


③プレビューウィンドウが立ち上がります。



左に変換前、右に変換結果のシミュレーション画像が表示されています。

④ジョブチケットフィルターメニューの「RGB出力」「CMYK出力」「グレイ出力」「全て」から、シミュレーションしたい出力モードを選択します。

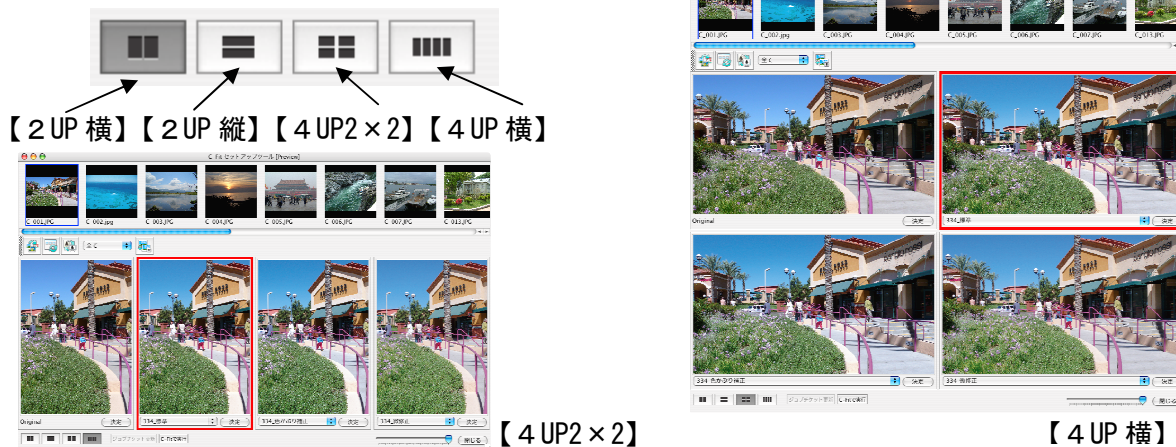


この状態で「一括作成」アイコンをクリックし、全ての処理が完了するまで待ちます。

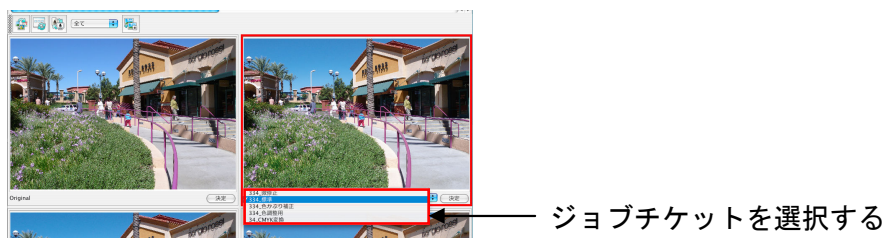
※作業を急ぐ場合は、プレビュー画像がいくつか作成された段階で、次の作業に進むことも可能です。

⑤「一括作成」処理の完了を確認後、実際の作業に入ります。

まずウインドウの分割スタイルを切り替えます。プレビュー表示は【2UP横】【2UP縦】
【4UP2×2】【4UP横】の4種類から選べます。



⑥各画像の下にあるプルダウンメニューよりシミュレーションしたいジョブチケットを選択します。



⑦シミュレーション画像の中から最適な画像を選び、画像右下にある「決定」ボタンをクリックします。



⑧選択済画像のサムネイル（上段）にチェックが入り、自動的に次画像のプレビュー画面に切り替わりますので、同様に最適な画像を選択していきます。

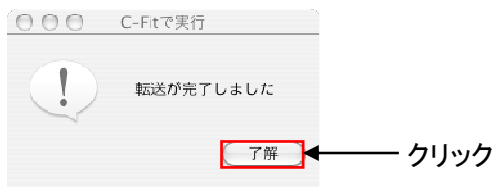


⑨変換したい画像全てにチェックが入ったことを確認した後、「C-Fitで実行」ボタンをクリックします。

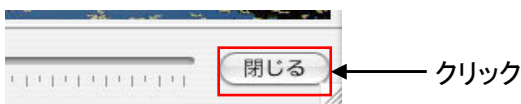


⑩C-Fit サーバーへ画像が転送され、実際の変換処理が始まります。

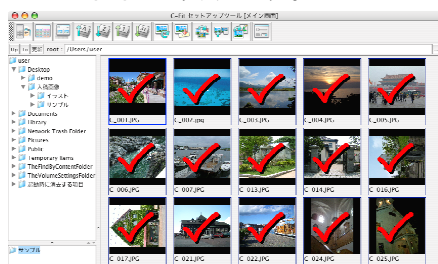
すべての画像が転送されると下記のメッセージウインドウが開きますので「了解」をクリックします。



⑪プレビュー画面右下にある「閉じる」ボタンをクリックして画面を閉じます。



メイン画面に戻ります。



※メイン画面下のサムネイルにも同様にチェックが入ります。

⑫C-Fit サーバーより変換された画像が順次「SetupTool 出力」フォルダに出力されますので、全ての変換済画像を取り出します。



3-2 変換結果の個別補正

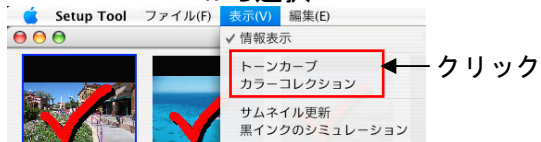
シミュレーション画像に対してさらに補正を行いたい場合、トーンカーブ、カラーコレクションパネルを使用して個別補正をすることが可能です。

①トーンカーブ/カラーコレクションパネルを表示します。

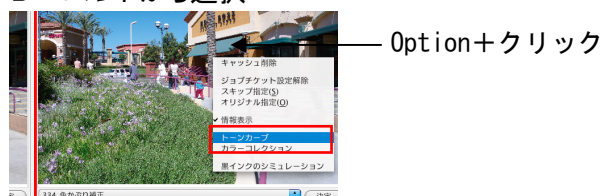
パネルの表示方法

- A: メニューバーの「表示」メニューから「トーンカーブ」／「カラーコレクション」を選ぶ
- B: シミュレーション画像上で Option+クリックし、コンテキストメニューから「トーンカーブ」／「カラーコレクション」を選ぶ

A メニューバーから選択



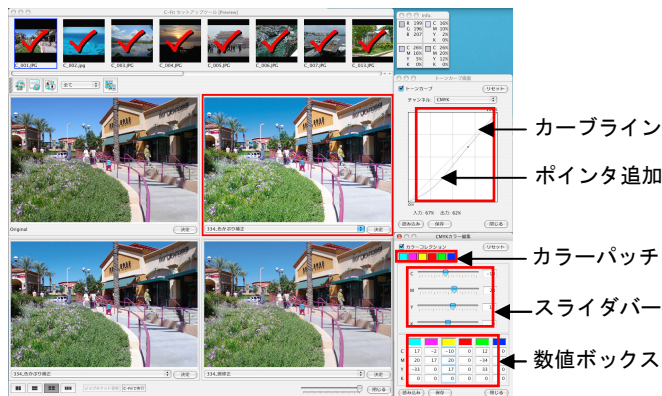
B コマンドから選択



②補正を行いたいシミュレーション画像上をクリックします。

※赤枠が付いたエリアがトーンカーブ、カラーコレクション調整の対象画像です。

②トーンカーブ/カラーコレクション調整を行います。



●トーンカーブ

- 手順1: カーブライン上にカーソルを併せ、Control+クリックでポイントを追加
※ポイントを削除したい場合は、ポイントにカーソルを合わせ Control+クリック
- 手順2: ポイントにカーソルを合わせドラッグ

●カラーコレクション

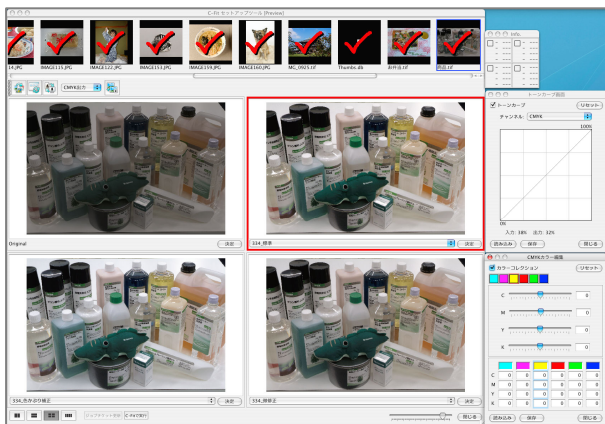
- 手順1: カラーパッチから調整したい色相のパッチをクリック
- 手順2: スライダーまたはマニュアル設定数値ボックスでカラー修正

③個別補正終了後、画像右下にある「決定」ボタンをクリックします。

3-3 ジョブチケットのカスタマイズ

セットアップツール上から C-Fit のジョブチケットに対し、トーンカーブ、カラーコレクションパネルの設定を反映させることが可能です。

①補正したい画像をプレビュー表示します。



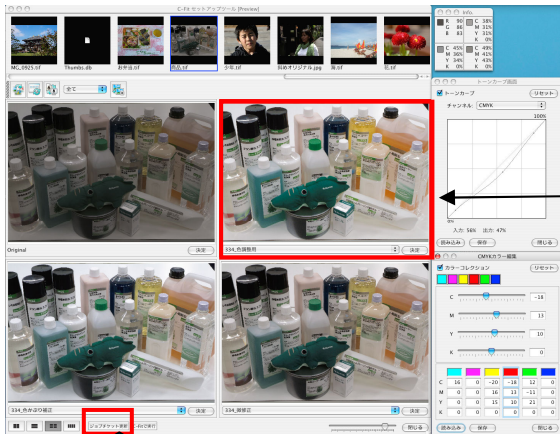
注：ジョブチケットのカスタマイズは C-Fit の変換結果に影響する作業ですので、十分にご注意下さい。

補正したいジョブチケットは、複製したものをカスタマイズすることをお奨めします。

②カスタマイズしたいジョブチケットを選択し、表示されたシミュレーション画像上をクリックします。
※赤枠が付いたエリアがトーンカーブ、カラーコレクションの対象画像です。

③トーンカーブ、カラーコレクションパネルで色調整を行います。

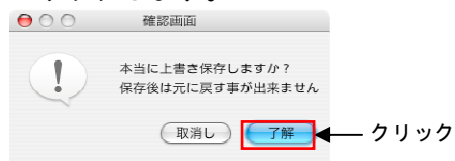
④調整が完了したら、補正したプレビュー画像を再度クリックし、Shift+S を押します。



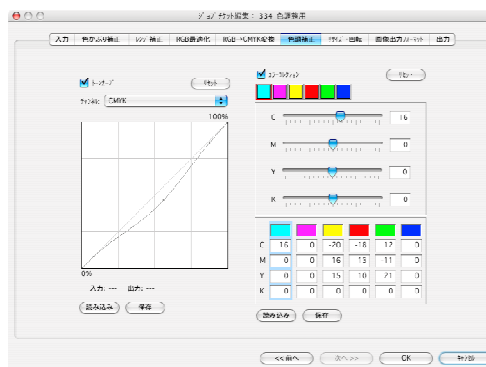
1. 赤枠が付いたエリア内をクリック
2. Shift+S を押す

3. プレビュー画面下の「ジョブチケット更新」ボタンが選択可能になる

⑤「ジョブチケット更新」ボタンをクリックすると以下のメッセージが表示されますので、「了解」をクリックします。



C-Fit サーバー上のジョブチケットの設定が書き換わります。



4. 比較一覧/編集画面

ここでは C-Fit で実際に変換された画像に対し、変換画像の確認及びトーンカーブによる補正までの流れを説明します。

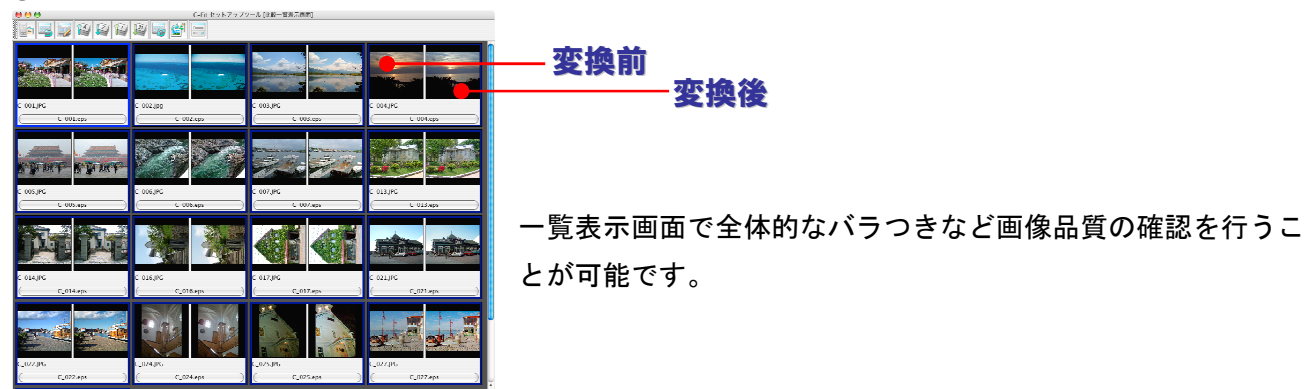
なお、この作業は C-Fit 変換済データに対し、確認／補正が必要無い場合は省略しても構いません。

4-1 変換済画像の一覧表示

① メイン画面の「比較一覧画面」ボタンをクリックします。



② 左側にオリジナル画像、右側に C-Fit 処理後の画像のサムネイルがセットで一覧表示されます。



4-2 比較編集画面での個別補正

① 一覧表示の中で、拡大表示・個別補正が必要な画像を選択します。

以下のコマンド入力により、複数画像を同時に選択することも可能です。

- ・ 複数選択=Option を押したまま選択したい画像をクリック
- ・ 範囲選択=Shift を押したまま選択したい画像をクリック
- ・ 全選択=Command+A

② 任意のサムネイル画像を選択した状態で、「比較編集表示」ボタンをクリックします。



③ 比較編集画面が立ち上がります。

左側にオリジナル画像、右側に C-Fit 処理後の画像が拡大表示されています。



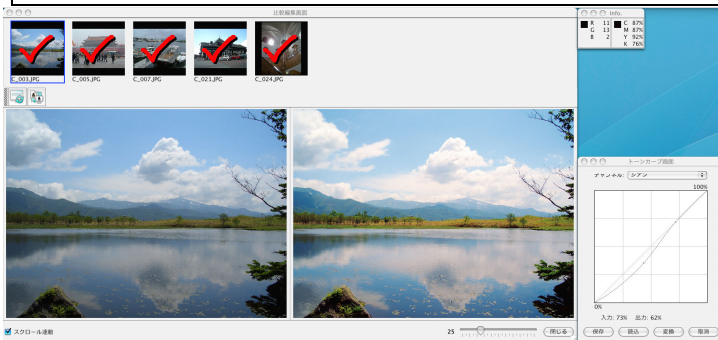
- ④ 右側の画像にマウスカursorを合わせ、Control ボタン+クリックをします。
 コンテキストメニューが表示されますので、「トーンカーブ」を選択しクリックします。



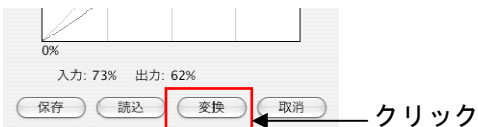
- ⑤ トーンカーブ調整パネルが表示されます。C-Fit 処理後の画像に対しトーンカーブ調整が可能です。

●トーンカーブの操作方法

- 手順1：トーンカーブライン上にカーソルを併せ、Control+クリックでポイントを追加
 ※ポイントを削除したい場合は、ポイントにカーソルを合わせ Control+クリック
 手順2：ポイントにカーソルを合わせドラッグ
 手順3：「変換する」ボタンクリックで実行



- ⑥ 補正作業完了後、トーンカーブパネルの「変換」ボタンをクリックします。



- ⑦ 編集結果に問題が無ければ比較編集画面右下の「閉じる」ボタンをクリックします。



- ⑧ 「SetupTool 出力」フォルダより、全ての変換済画像を取り出します。



4-3 外部アプリケーションでの個別補正

他のアプリケーションで個別補正を行いたい場合、セットアップツール上から容易に PhotoShop 等の外部アプリケーションを起動させることが可能です。

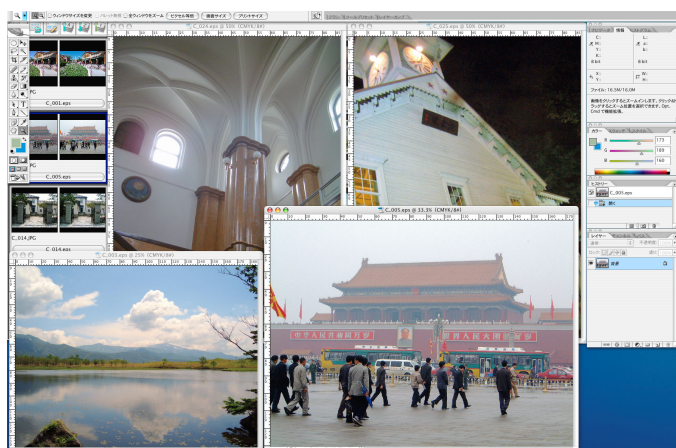
①一覧表示の中で、補正が必要な画像を選択します。

② 任意のサムネイル画像を選択した状態で、「外部アプリケーションで編集」ボタンをクリックします。



↑「外部アプリケーションで編集」ボタン

③ C-Fit 変換済画像が開きますので、微調整やリサイズ、トリミングなどの補正作業を行い、「上書き保存」をします。

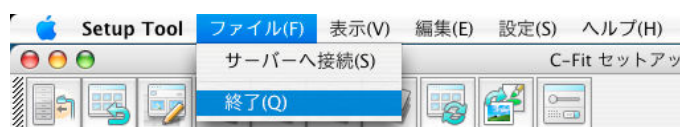


④ 「SetupTool 出力」フォルダより、全ての変換済画像を取り出します。



5、終了方法

①「ファイル」メニューより「終了」を選択します。



②セットアップツールが終了します。

以上